

つきたい力

自ら課題を発見し、解決する力
多様な意見を尊重しながら協働する力

取組みの概要・ポイント

Google Workspace For Educationをはじめとするクラウドサービスを活用し、Googleドキュメント、スライド、スプレッドシートを用いて、児童が主体的にテーマを設定し、調査・分析、発表を行う探究学習の推進。

具体的な取組みの内容【子ども主体の学びに向けて】

各学級で・・・

まずは使ってみよう！



学習課題の提示

今日の取り組み内容

課題 グーグルスライド作成に取り組みよう！
めあて 4枚のスライドを作成する。

準備物 iPad キーボード

①社会資料として4枚の写真を確認する。写真を写真フォルダに保存。

②グーグルスライドを開く。右下の+マークをタッチ

③新しいプレゼンテーションを選択（せんたく）

④画面右上の+ボタンから写真をそう入。そう入後スライドの半分に写真を調整しよう。

⑤テキストをそう入して、写真の題名を書き込み

下の番号の順番でスライドを作成してみる。スライド追加ボタン左下の+のボタンを押して作成。

①拡大縮小

②拡大縮小

③拡大縮小

④拡大縮小

Google活用に向けて

大阪府の情報活用能力
ステップシート

+
Google for Education活用表

布施小の情報活用能力
ステップシートを作成

学習方法の選択

子どもが自分で学び方を調整

情報収集は
教科書をベースとして
端末も活用

6月7日（金） 時間目 『時ごとと時間』

めあて 自分のでき方で ラグビー場を出る時ごとを考えよう。

<学習の進め方>

①めあてをノートに書く。

②問題を読む。

③自分に合ったべん強方法をえらんで、問題をといていく。

④ふりかえりをノートに書く。

<使いたいツール>

・ロイロノートの時計

・教科書

・ノート

評価基準を共有

S...2つ以上の方で問題がとけて
せつ明できる。
A...1つの方で問題がとけて、
せつ明できる。
B...問題をとくことができる。

・子どもが評価でき
る評価にする
・評価のどこまで達
成したいか自分で
決め、ふりかえる

子どもの学習進捗の把握・ふりかえりの共有

今、ここです！				スプレッドシート
学習時間	学習内容	学習状況	学習成果	学習成果
12分	12分	12分	12分	12分
0	0	0	0	0
30	30	30	30	30
26分	26分	26分	26分	26分
17分	17分	17分	17分	17分

個別最適な学びへ

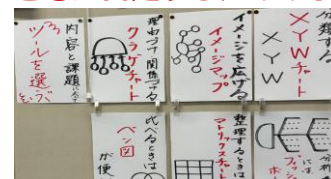


他者参照
自分の学びへと
つなげる

情報活用能力の育成

自己調整、協働学習

子どもが自走するための手立て



学ぶ相手も自分で決める



めあて...
他国の子どもと海外との交流はどのように行われたのだろうか。
★学習の流れ★

【課題の設定】
今日のめあてを確認する
【情報の収集】
P146、147から教科書の内容を読み取りメモを取る
・めあてに合う大切なことと書く
・大切なことと書く
・本文に添える資料に書く
・資料から読み取ったこと
・教科書の文章から自分が考えたこと

【整理・分析】

海外との交流はどのように行われたのかスライドにまとめる。
・外国との貿易を制限している中、朝鮮とだけは国と国が対等に貿易をすることができた。
・交流した国の特徴や、どのように行われたのかをまとめる

【まとめ・表現】
ふりかえりを書く（スプレッドシート）

探究のサイクルを意識

学んだことをふりかえり でアウトプット



子ども主体の学びに向けて

学習の手引き

- ①学習課題
- ②今日のゴール
- ③ルーブリック
- ④課題の設定
- ⑤情報の収集
- ⑥整理・分析
- ⑦まとめ・表現
- ⑧ふりかえり

新たな学びの提示

- ①学習課題
- ②今日のゴール
- ③ルーブリック
- ④課題の設定
- ⑤情報の収集
- ⑥整理・分析
- ⑦まとめ・表現
- ⑧ふりかえり

取組みを通しての子どもの変容

スプレッドシートを活用することにより、他者の作業を参考にすることが容易になった。それにより協働学習が促進され、必要な情報を選択する能力が向上し、子どもたちが自ら課題に取り組む姿勢が見られるようになった。また、教科書から情報を集め、整理し、まとめる過程を通して、読解力の向上が見られ、課題を発見し、解決するための力も身につけてきている。デジタルとアナログのバランスを考えた授業により、子どもたちの学習意欲が高まった。

本校の取組みは
学校HPでも公開
しています→

